

日時：令和2年3月4日（水）15：30～

場所：県議会議事堂 農林水産・建設委員会室

○県副本部長（八矢副知事）

ただいまから、愛媛県・松山市合同新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催いたします。初めに、県本部長である知事から挨拶をお願いします。

○県本部長（知事）

本日、県内で初めて、松山市在住 30 代の女性が、新型コロナウイルス感染症を発症していることが確認され、先程、松山市と合同で臨時の記者会見を行ったところでございます。

県全体で言えば、先週から、発症はしていないものの、初めての感染確認を受けてステージが変わったということ、県全体で意識しながら緊張感を高めて参りました。今回、松山市の初めての症例でございますので、かつ、県内での初めての発症ということでございますから、もうこの瞬間から松山市もステージを一気に上げていただきたいというふうに思います。本来でしたら、松山市保健所管轄の松山市でお願いするところなのですが、場合によっては、市町をまたがる対応が必要になってくるかもしれないということ、そしてまた、先週から県では南予地域の問題に対処してきた経験があるということで、今回、合同で行っていくということにさせていただきたいと思っております。

県庁の職員に先週申し上げたことを参考までにお話させていただきますと、こういう時こそ組織の力量が問われる、我々はこれから県民・市民の安全・安心を守るという大変重要な使命を帯びて、この問題に対処していく、この意識を全員が共有してほしいと思っております。そして、またここに集まる幹部職員の皆さんが愛媛県庁であれ松山市役所であれ、責任者でありますから、本当に最大の緊張感を持って、常に 24 時間連絡が取れる体制は必ず取っていただきたいということ、このことをぜひよろしくお願い申し上げます。

今後、県と松山市の関係部局で最新かつ正確な情報・現状を共有しながら、的確にそして初動とスピード感が（感染拡大を）抑えるための何よりの大事なポイントでありますので、拡大防止に全力を尽くしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○県副本部長（八矢副知事）

続きまして、松山市の本部長である松山市長から挨拶をお願いします。

○松山市本部長（松山市長）

皆様、お疲れ様です。

先ほど、記者会見でもしゃべったんですが、最大限、最小限という言葉を使って話をさせていただいたと思います。

松山市で発生をいたしました。やはり、松山市といたしましては、このコロナウイルス

の広がりをも最小限にしていきたい。また、経済への影響をも最小限にしていきたいというふうに思っています。やはり、愛媛県と松山市で合同でということでは1足す1は2ではなくて3で、また4でという最大限の力を発揮して、抑え込みに全力を挙げていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様方の御協力をお願いいたしまして私からの挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○県副本部長（八矢副知事）

ありがとうございました。それでは、今回の新型コロナウイルス感染症患者の確認状況と対応等につきまして、松山市からご報告願います。

○松山市副本部長（松山市保健福祉部長）

松山市の保健福祉部です。宜しくお願いします。

感染者の概要についてですが、今お手元に資料をお配りしております、年代が30代の女性、居住地は松山市、会社員ということでした。

最初に書いてありますように発症前2週間以内の海外渡航歴、県外への旅行はないというふうに聞いております。症状経過を25日から本日までのところ、今現在分かる段階でここに調べて記載しております。市内の医療機関をA、B、Cと受診されて、今日の状況は現在、発熱、せき、倦怠感があるということですが、特段重い症状ではないということですが、検査の結果、陽性となりましたので、今日入院する予定となっております。

行動歴は、2月11日から26日まで現在調査して分かっている状況をここに記させていただきます。今後、松山市保健所で行動等詳しく調査しますので、この間で分かりましたことをこれからお知らせしていきたいと思っております。

そして、1点付け加えさせていただきます。26日の夜、受診しております市内医療機関Bは、松山市の急患医療センターでございます。急患医療センターでインフルエンザの検査をしております、ここでインフルエンザマイナスという結果が出ております。

そして、現在ご家族の状況ですが、ご家族1名と職場の同僚10名程度ということで、この方たち、現在お聞きしている段階では、特段に症状はないという事で、症状をこれから確認しまして、ご家族は今日検査いたします。10名については、これから状況見ながら検査を実施していくこととしております。

○副本部長（八矢副知事）

ただいま、市から対応等について説明がありましたが、質問や追加説明等もしあれば。それでは、これらを踏まえまして県副本部長の知事から一言申し上げます。

○県本部長（知事）

はい。今日から勝負が始まります。先週の土曜日の県の対応を参考までに申し上げますと、まず、本人の聞き取り調査でできるだけ詳しい状況を情報として得るということ。これが第1点。

2つ目は、今日中に入院をしていただくという手配をするということ。これが第2点。

第3点は、濃厚接触者の把握、これをしっかり行うこと。そして、出来れば夜遅くなくても、それぞれ手分けして、濃厚接触者の方をお願いをして、本当に対応に行くときも十分気を付けて二次感染に気を付けながら行っていただく必要があると思っておりますけれども、

検体を手に入れるということ。そして、それを出来るだけ、南予の例でいうとその日の夜9時には、衛生環境研究所に検体を送ることになりましたので、20数名でしたけれども、それが出来れば今日中にやっていただきたい。

それから、自宅の消毒、これも当日中に完了させていますのでこれもぜひやっていただきたい。今日はまず、ここまではぜひ全力で全てクリアできるぐらいの勢いで臨んでいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。そして、これからですね、県と市2つの違った組織の協力体制をしっかりと築かなければ力が発揮できません。また、そのためにはですね、組織というのは指揮系統がしっかりしていなかったら、その力を発揮することができないので、愛媛県側は、県と市の連絡調整は八矢副知事を指名します。全部長、この件に関しては、八矢副知事に全権を委任しますので、しっかりと組織上対応していただきますようお願いをいたします。市の方はどうされるか、市長の方からお願いします。

○松山市本部長（松山市長）

はい。私ども、保健担当の北澤副市長を指名いたします。愛媛県さんと同様によりしくお願いいたします。

○県本部長（知事）

はい。それでは、お二人、しっかりと連絡体制そして組織のマネジメントをやっていただきますよう、お願いいたします。我々が右往左往したら県民、市民は不安になると思いますので、冷静に我々も、そして、しっかりとスピード感を持って対応に今日から今からあたっていきますので、力を合わせて乗り切りましょう。以上です。

○副本部長（八矢副知事）

ありがとうございました。それでは、以上で愛媛県・松山市合同新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了いたします。散会してください。